

第3次晴れの国おかやま生き生きプラン(仮称)

骨子案

令和2(2020)年7月

岡山県

目 次

第1章 基本的な考え方	1
1 県政の基本目標	
2 プランの性格等	
3 プラン推進の基本姿勢	
第2章 長期構想（岡山の将来像）	2
1 2040年頃を見据えた変化と課題	
2 岡山の個性と優位性	
3 2040年頃の目指すべき岡山の姿	
4 地域別構想	
第3章 行動計画	4
重点戦略Ⅰ 教育県岡山の復活	5
1 学ぶ力育成プログラム	
2 徳育・体育推進プログラム	
3 グローバル人材育成プログラム	
重点戦略Ⅱ 地域を支える産業の振興	7
1 企業誘致・投資促進プログラム	
2 企業の「稼ぐ力」強化プログラム	
3 観光振興プログラム	
4 儲かる農林水産業加速化プログラム	
5 働く人応援プログラム	
重点戦略Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造	10
1 保健・医療・福祉充実プログラム	
2 結婚・妊娠・出産応援プログラム	
3 子育て支援充実プログラム	
4 防災対策強化プログラム	
5 暮らしの安全推進プログラム	
6 持続可能な中山間地域等形成プログラム	
7 快適な環境保全プログラム	
8 生きがい・元気づくり支援プログラム	
9 情報発信力強化プログラム	

第1章 基本的な考え方

1 県政の基本目標

すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き生き岡山」の実現を、引き続き県政の基本目標とします。

2 プランの性格等

県政の最上位に位置付けられる総合的な計画とし、将来の目指すべき岡山の姿を描く長期構想と、その実現に向けた行動計画という2つの性格を併せ持つものとします。

(1) 長期構想

岡山の将来像について、高齢者人口がピークを迎え、その後はすべての世代で人口減少が見込まれる2040年頃を展望します。

(2) 行動計画

- <重点戦略> I 教育県岡山の復活
II 地域を支える産業の振興
III 安心して豊かさが実感できる地域の創造

<計画期間> 令和3(2021)年度から令和6(2024)年度までの4年間

3 プラン推進の基本姿勢

プランの推進に当たっては、「顧客重視」、「コスト意識」、「スピード感」の3つの視点を持ち、さまざまな主体との連携・協働を基調に施策を展開するとともに、施策の成果を検証し、見直しと改善を加え、効率的、効果的な県政運営を行います。

(1) 顧客重視の視点に立った県政の推進

県民ニーズ等の把握、県政情報の積極的な提供、行政手続のオンライン化等

(2) さまざまな主体との連携・協働

市町村との連携強化、ボランティア・NPO等との連携・協働等

(3) 時代の要請に応える政策推進

部局横断型の政策決定、職員の育成、コスト意識の徹底、SDGs等

(4) PDCAサイクルの実施

行政評価の実施、施策の見直し等

第2章 長期構想（岡山の将来像）

1 2040年頃を見据えた変化と課題

岡山に到来する新たな時代の変化を前向きに受け止め、「生き生き岡山」の実現を図るため、県民と共有する課題について整理します。

- (1) 本格的な人口減少社会・長寿社会の到来
将来の人口推計、人生100年時代、中山間地域や離島を取り巻く状況
- (2) 世界的な潮流
Society5.0の到来、グローバル化の進展、ポストコロナの展望
- (3) 「教育県岡山の復活」を取り巻く変化と課題
年少人口減少の影響、Society5.0やグローバル社会で求められる人材等
- (4) 「地域を支える産業の振興」を取り巻く変化と課題
生産年齢人口減少の影響、飛躍的な技術革新、国際競争の環境変化等
- (5) 「安心して豊かさが実感できる地域の創造」を取り巻く変化と課題
人口減少・高齢者人口増加の影響、感染症問題、風水害の頻発化、ライフコースや価値観の多様化等

2 岡山の個性と優位性

本県のさらなる発展を図るため、岡山の個性やこれまで築き上げてきた優位性（拠点性、気候、自然環境、地震災害、教育環境、産業集積、観光資源、農林水産物、医療環境、福祉、文化・スポーツ）について整理します。

3 2040年頃の目指すべき岡山の姿

本県の人口ビジョンを見据えながら、概ね20年後である2040年頃の目指すべき岡山の姿を、3つの重点戦略ごとに描きます。

- (1) 「教育県岡山の復活」の先にある将来像
未来社会を生きる資質・能力の習得、安心して学ぶことができる環境等
- (2) 「地域を支える産業の振興」の先にある将来像
成長分野への投資、海外の成長の取込み、多様な人材の活躍等
- (3) 「安心して豊かさが実感できる地域の創造」の先にある将来像
質の高い医療・福祉サービスの享受、第2子以上を持ちやすい環境、災害に強い岡山、地域の生活サービス機能の確保等

4 地域別構想

備前・備中・美作地域ごとに、地域の将来の姿を描くとともに、その実現に向けた政策展開の方向性を示します。

<備前地域>

○将来の姿

活力あふれ、明るく笑顔で暮らせる備前地域

○政策展開の方向性

- ・備前地域を売り込む産業の振興

備前焼等の地域産品の知名度向上、桃、ぶどう、いちごなどのブランド化等

- ・安心して豊かさが実感できる備前地域の創造

河川改修・高潮対策等の推進、地域ぐるみの子育て支援等

<備中地域>

○将来の姿

夢と元気にあふれ、安全・安心して暮らしやすい備中地域

○政策展開の方向性

- ・備中地域ならではの産業モデルの構築

水島コンビナート等の拠点性向上、周遊・滞在型観光の促進等

- ・備中地域ならではの地域モデルの構築

災害時の「共助」体制整備、連携と交流による中山間地域や離島の振興等

<美作地域>

○将来の姿

魅力と活力にあふれ、安心して生き活きと暮らせる美作地域

○政策展開の方向性

- ・美作地域の資源を生かした産業の振興

農林業・地域産業の振興、自然体験など滞在型広域観光の推進等

- ・人々が支え合い生き活きと暮らせる「美作国」

医療・介護提供体制の整備、自立的な地域づくりの促進、基盤整備等

第3章 行動計画

3つの重点戦略の下に、17の戦略プログラムを掲げ、関連する指標と施策を配置します。

各戦略プログラムには、令和6(2024)年度までの計画期間中に達成しようとする目標値として「生き生き指標」を設定します。

【行動計画の構成】

重点戦略Ⅰ 教育県岡山の復活

- 1 学ぶ力育成プログラム
- 2 徳育・体育推進プログラム
- 3 グローバル人材育成プログラム

重点戦略Ⅱ 地域を支える産業の振興

- 1 企業誘致・投資促進プログラム
- 2 企業の「稼ぐ力」強化プログラム
- 3 観光振興プログラム
- 4 儲かる農林水産業加速化プログラム
- 5 働く人応援プログラム

重点戦略Ⅲ 安心して豊かさが実感できる地域の創造

- 1 保健・医療・福祉充実プログラム
- 2 結婚・妊娠・出産応援プログラム
- 3 子育て支援充実プログラム
- 4 防災対策強化プログラム
- 5 暮らしの安全推進プログラム
- 6 持続可能な中山間地域等形成プログラム
- 7 快適な環境保全プログラム
- 8 生きがい・元気づくり支援プログラム
- 9 情報発信力強化プログラム

重点戦略Ⅰ 教育県岡山の復活

1 学ぶ力育成プログラム

年少人口の減少による学校の小規模化が想定される中、子どもたちが、将来、主体的に学び、社会課題の解決につながる新たな価値や行動を生み出すことができるよう、夢や目標を持つことで学びに向かう意欲を高め、自らの可能性に挑戦するために必要となる学力を確実に育成することが必要です。

主な生き生き指標例

- 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合
- 全国学力・学習状況調査の全国平均正答率との差【新】
- インターンシップや企業訪問等を体験した高校生の割合【新】
- 授業以外で平日に1時間以上学習する児童生徒の割合

主な施策例

- キャリア教育の推進
- 子どもたちの学力が伸びる仕組みづくり
- 教師の教える技術の向上

2 徳育・体育推進プログラム

不登校児童生徒をはじめ、すべての子どもたちが安心して学校に通うことのできる環境を整え、子どもの学習を保障する必要があります。また、子どもたちが、将来、社会の一員として活躍できるよう、若年期から精神面、身体面の充実を図ることが必要です。

主な生き生き指標例

- 小・中・高等学校における不登校の出現割合（児童生徒1千人当たり）の全国平均との差【新】
- 「人が困っているときは、進んで助けている」と回答した児童生徒の割合
- スマートフォン等の利用に関して「家庭のルールがある」と回答した児童生徒の割合【新】
- 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答した児童生徒の割合【新】
- 「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合【新】

主な施策例

- 不登校等を生まない学校づくりの推進
- 道徳教育を核とした規範意識の確立
- スマホ・ネット対策の推進
- より良い社会づくりに参画する人材の育成
- 子どもたちの体力の向上【新】

3 グローバル人材育成プログラム

日本人としてのアイデンティティを持ち、豊かな語学力・コミュニケーション能力や、異文化を理解する精神等を有するとともに、膨大な情報から、自ら問いを立ててその解決を目指し、他者と協働しながら新たな価値や行動を生み出すことのできる人材を育成することが必要です。

主な生き活き指標例

- 県内大学及び高校等（公・私含む）からの海外留学者数【新】
- 全国規模の理数・情報・政策提案等のコンテストへの県立高校生の参加者数【新】

主な施策例

- 国際的に活躍できる人材の育成
- Society5.0に向けた人材の育成【新】

重点戦略Ⅱ 地域を支える産業の振興

1 企業誘致・投資促進プログラム

県内の生産・雇用への誘発効果が期待できる企業を幅広く誘致するとともに、企業の投資を一層促進するため、企業が立地する際に必要な人材確保の支援等ニーズに応じたきめ細かい支援や、企業から引き合いが多い県南内陸部やインターチェンジ周辺での産業用地の確保を進める必要があります。また、新型コロナウイルスの感染拡大の影響や、これに起因する生産拠点の国内回帰や地方への企業分散の動向も注視する必要があります。

主な生き生き指標例

- 新規立地企業等の投資額【新】
- 新規立地企業等の雇用創出数
- 水島工業地帯における投資額【新】
- 主要渋滞箇所数

主な施策例

- 戦略的誘致施策の推進
- 県内への国内拠点設置の促進
- 水島コンビナートの国際競争力強化
- 交通基盤整備

2 企業の「稼ぐ力」強化プログラム

生産年齢人口の減少や国内市場の縮小が想定される中、中小企業・小規模事業者には、人手不足に対応できる生産性の向上や、市場の変化に応じた積極的な販路開拓、I o T・A Iをはじめとする技術革新やE Vシフトなどへの適切な支援が必要です。また、廃業等により地域に必要とされる企業や優れた技術が失われないよう取り組む必要があります。

主な生き生き指標例

- 経営革新に取り組む中小企業・小規模事業者数
- 従業員1人当たり売上高【新】
- 企業と大学との共同研究センターにおけるマッチング支援件数【新】
- あっせん・サポート等による取引成立件数【新】
- 県融資制度に占める創業者の融資割合【新】
- 工学系学生の県内就職率【新】

主な施策例

- 企業の持続的な成長・発展支援
- Society5.0の時代に対応するイノベーションの推進【新】
- 地域特性を生かしたマーケティング戦略の展開【新】
- 地域に活力をもたらす新ビジネスの創出支援
- 企業を支える産業人材の育成・確保

3 観光振興プログラム

新型コロナウイルス感染症収束後の観光消費額やインバウンドの拡大に向けた速やかな対応が求められています。本県への誘客とさらなる観光消費の拡大を図るため、認知度をより一層向上させるとともに、観光客の滞在時間の延長につながる取組を進める必要があります。

主な生き生き指標例

- 観光消費額
- 観光入込客数
- 外国人延べ宿泊者数【新】
- 岡山桃太郎空港の国際線利用者数

主な施策例

- 滞在型観光の推進
- 多様な主体と連携した魅力発信
- 国・地域の特性を踏まえたインバウンド戦略の展開と航空ネットワークの拡充

4 儲かる農林水産業加速化プログラム

人口減少による国内市場の縮小が懸念される中、本県の有する優れた人材や高い技術力、恵まれた自然環境などの優位性を最大限生かしながら、農林漁業者が自立した経営を通じて所得増大を図り、農林水産業を将来にわたり成長し続ける、魅力ある産業とすることが必要です。

主な生き生き指標例

- 農林水産業産出額
- 県産農産物の首都圏販売金額及び輸出金額【新】
- 桃、ぶどうの栽培面積【新】
- 新規認定農業者数【新】

主な施策例

- マーケティングの強化とブランディングの推進
- 海外でのブランド確立による輸出拡大
- 桃、ぶどうの供給力の強化【新】
- 次代を担う力強い担い手の確保・育成
- 生産性の高い農業の推進【新】

5 働く人応援プログラム

人口減少や高齢化が一層進む中、生産年齢人口の減少に対応し、本県の経済を維持・発展させていくためには、企業が求める人材の還流と定着を進めるとともに、性別や年齢にかかわらず誰もが能力を十分に発揮できる多様で柔軟な働きやすい環境づくりに取り組む必要があります。

主な生き生き指標例

- 県内大学新卒者の県内就職率
- 本県出身の県外大学新卒者のUターン就職率【新】
- 1人当たり年間総実労働時間
- 女性の生産年齢人口に対する常用労働者の割合
- 県内大学留学生の県内就職率【新】

主な施策例

- 若者の県内定着を進める就職支援
- 県内企業の発展を担う人材の還流・定着の支援
- 意欲や能力に応じて活躍できる働き方の推進【新】
- 男女の均等な雇用機会等の確保と女性の活躍推進
- 外国人材の活躍支援【新】

重点戦略Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造

1 保健・医療・福祉充実プログラム

人口減少と高齢化が同時に進行する中であっても、社会経済の活力を維持し、保健・医療・福祉が連携を取りながら、質の高いサービスを地域において切れ目なく提供するための体制を確立する必要があります。また、新型コロナウイルス感染症の経験を生かし、未知の感染症の世界的大流行へ備えることが必要です。

主な生き生き指標例

- 県内の医師不足地域の医療機関に勤務する地域卒卒業医師数【新】
- 病床機能のうち回復期機能の充足率【新】
- 成人の喫煙率
- 糖尿病性腎症による新規透析導入患者数【新】
- 福祉人材センターが関わった介護施設等への就職者数
- 感染症に関する訓練・研修会への参加人数【新】
- 子宮頸がんの予防法について正しく知っている者の割合【新】

主な施策例

- 地域医療を支える医療従事者の確保・育成
- 地域における医療提供体制の整備
- 心と体の健康づくりの推進
- 福祉・介護の人材確保とサービスの質の向上
- 感染症対策の推進

2 結婚・妊娠・出産応援プログラム

合計特殊出生率が伸び悩み、出生数の減少に歯止めがかからない中、結婚しない理由として、「適当な相手に出会わないため」が最も多いことや、理想の子ども数と予定する子ども数には差が生じていることなどから、出会い、結婚、妊娠・出産へのさらなる支援に総合的に取り組む必要があります。

主な生き生き指標例

- 合計特殊出生率
- おかやま出会い・結婚サポートセンターが関わった成婚数
- 妊娠・出産について満足している者の割合
- 妊娠と年齢の関係について正しく知っている県民の割合

主な施策例

- 社会全体で結婚、妊娠・出産を応援する気運の醸成
- 若い世代の結婚の希望をかなえる環境の整備
- 切れ目ない母子保健等の推進

3 子育て支援充実プログラム

核家族化の進行、共働き家庭の増加、地域のつながりの希薄化、子どもの貧困や虐待など、子どもや子育てを取り巻く環境において、子育てに対する不安や負担感、孤立感を解消し安心して子どもを育てることができるようにする必要があります。

主な生き生き指標例

- 放課後児童クラブ実施箇所数
- 保育士・保育所支援センターが関わった保育所等への就職者数【新】
- おかやま子育て応援宣言企業「アドバンス企業」認定数【新】

主な施策例

- 地域ぐるみの子育て支援
- 乳幼児期における教育・保育の充実【新】
- 社会全体で子育てを応援する気運の醸成

4 防災対策強化プログラム

平成30年7月豪雨災害を経験し、県民の自助・共助の重要性が再認識される中、南海トラフ地震や頻発化・激甚化する風水害などに備え、県民の防災意識をさらに高め、市町村、自主防災組織等と連携して、地域防災力の充実強化を図る必要があります。さらに、発災後には、被災者が一日も早く日常を取り戻せるよう、多様な主体と連携しながら、早期の復旧・復興を図る必要があります。

主な生き生き指標例

- ハザードマップの確認を行っている県民の割合【新】
- 自主防災組織率
- 県内外の被災地に派遣できる「チームおかやま」の数【新】
- スマホアプリ等を通じて防災に関する知識や情報を入手する県民の割合【新】
- 特に重要な緊急輸送道路上の橋梁の耐震化率【新】
- 河道内整備の実施延長【新】

主な施策例

- 自らの命は自らが守る取組の促進
- 互いに助け合う地域の防災力の充実強化【新】
- 県民の命を守る災害対応力の充実強化
- 迅速な避難等につながる防災情報基盤の強化及び災害時の体制強化
- 防災施設整備や公共施設等の耐震化の推進

5 暮らしの安全推進プログラム

特殊詐欺の悪質・巧妙化、高齢者人口の増加、地域ぐるみの見守り活動の担い手不足など、治安を取り巻く状況が変化中、県民一人ひとりの防犯意識の向上や、新たな犯罪への対応等を通じて、治安の改善を着実に進める必要があります。

主な生き生き指標例

- 刑法犯認知件数
- 重要犯罪検挙率
- 人身交通事故件数

主な施策例

- 犯罪抑止対策の推進
- 捜査の高度化・科学化等の推進による犯罪の徹底検挙
- 交通事故防止対策の推進

6 持続可能な中山間地域等形成プログラム

人口減少や高齢化の進行により、生活サービス産業や公共交通の撤退、住民組織の担い手の不足、荒廃農地の増加など、地域社会の活力が失われつつある中、複数の集落が連携した集落機能の維持や、地域内外の多様な主体の協力のもと、地域住民が互いに支え合う仕組みづくりの推進を図るとともに、新型コロナウイルス感染症を契機として働き方の変化が進む中、地方移住への機運の高まりや、距離を越えて人や組織等をつなげるデジタル技術の活用拡大も踏まえ、県外から人を呼び込む取組を強化する必要があります。

主な生き生き指標例

- 社会増減数（外国人を含む）【新】
- 小さな拠点の形成数【新】
- 地域運営組織の数【新】
- 地域おこし協力隊の新規着任数【新】
- 移住相談件数【新】
- 農家民宿延べ宿泊者数【新】

主な施策例

- 生き生き拠点（小さな拠点）の形成促進
- 集落機能の維持・強化
- 多様な主体の活躍による持続可能な中山間地域等の形成促進【新】
- 移住・定住の促進
- 農山漁村の振興

7 快適な環境保全プログラム

温室効果ガス削減に向けたさらなる取組、海ごみや食品ロスなど新しい課題に対応した循環型社会形成等の推進、水、大気、土壌などの環境基準の達成など、あらゆる主体との連携により環境保全を進めていく必要があります。

主な生き生き指標例

- 微小粒子状物質（PM2.5）の環境基準達成率
- 少花粉スギ・ヒノキ苗木による植替えの割合及び面積【新】
- 電気自動車等の普及台数

主な施策例

- 水、大気、土壌などの保全対策の推進
- 花粉の飛散の低減に向けた取組の加速
- 温室効果ガスの削減に向けた取組等の推進【新】

8 生きがい・元気づくり支援プログラム

市町村、関係団体、地域住民等と連携し、広く県民が、文化やスポーツに親しみ、実践することができるような環境づくりを進めることにより、地域の一体感や活力を醸成する地域づくりに取り組む必要があります。また、高齢者や外国人をはじめすべての県民が元気に活動できる地域を実現する必要があります。

主な生き生き指標例

- おかやま県民文化祭の主催・参加プログラム件数【新】
- トップクラブチームのホームゲームにおける観客動員数【新】
- 国民体育大会における男女総合成績（天皇杯）順位【新】

主な施策例

- 文化とスポーツの力を活用した地域の活性化
- トップアスリートの育成・強化等の推進【新】

9 情報発信力強化プログラム

さまざまなメディア（媒体）を通じて発信される多くの情報の中にあっても、本県の魅力がしっかりと受け手に届く情報発信を行うとともに、インバウンド拡大等に向けて、海外への魅力発信を強化する必要があります。

主な生き活き指標例

- 全国における本県の魅力度【新】
- PR動画再生回数（国内向け・海外向け）【新】
- 首都圏等でのテレビ露出にかかる広告換算額【新】
- 県公式SNS閲覧登録者数【新】

主な施策例

- 強みを生かしたイメージアップ戦略の推進
- 首都圏アンテナショップを拠点とした岡山の魅力発信
- 海外に向けた魅力発信の強化
- SNS等による魅力発信の推進【新】